

2019年12月12日

輸送動向について（2019年11月分）

1. 輸送概況

コンテナは、エコ関連物資では関東地区内の建設発生土の輸送が順調に推移したほか、積合せ貨物が関西・東北発などで鉄道シフトが進んでおり増送となった。また、農産品・青果物は北海道産の玉葱が好調な出荷となったため、前年を上回った。

一方、紙・パルプは国内需要減少による販売不振および工場の設備不具合に伴って、大きく減送となった。食料工業品は清涼飲料水、ビールが販売不振となったことから低調に推移し、化学工業品は輸出向けを中心とした販売不振が続いたため、前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比 96.6%となった。

車扱は、11月に入って急激に気温が低下したことから、灯油を中心とした石油が好調な荷動きとなった。車扱全体では前年比 102.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 98.2%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,870	1,935	96.6%	13,870	13,014	106.6%
車 扱	763	747	102.1%	5,418	5,482	98.8%
合 計	2,632	2,682	98.2%	19,288	18,496	104.3%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	204	202	2	101.1%
	化学工業品	161	172	-11	93.4%
	化学薬品	125	130	-5	96.7%
	食料工業品	298	309	-11	96.5%
	紙・パルプ	225	250	-25	89.7%
	他工業品	128	136	-8	94.2%
	積合せ貨物	260	255	5	102.0%
	自動車部品	80	81	-1	98.3%
	家電・情報機器	35	40	-5	86.8%
	エコ関連物資	52	41	11	127.8%
	その他	301	318	-17	94.6%
	コンテナ計	1,870	1,935	-65	96.6%
車 扱	石油	524	507	17	103.5%
	セメント・石灰石	112	119	-7	93.7%
	車 両	76	73	3	103.9%
	その他	51	49	2	105.0%
	車 扱 計	763	747	16	102.1%
合 計		2,632	2,682	-50	98.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)